

# 1 過去の災害から学ぶ

千葉県は、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた、くらしやすいふるさとです。その一方で、2011（平成23）年3月11日に発生した東日本大震災をはじめ、昔から多くの地震や台風に見舞われ、大きな影響を受けてきました。

房総半島の南端の花畑は、観光客に人気の名所ですが、ここはいくたびもの地震によって隆起した海岸段丘の上にあります、かつては海の底でした。

これまでに発生した災害の被害状況は、1703（元禄16）年の元禄地震や1923（大正12）年の関東大震災で、津波被害を含め多くの死者、行方不明者を出しました。近年では、1987（昭和62）年の千葉県東方沖地震で2名の方が亡くなりました。

そして、2011（平成23）年に発生した東日本大震災は、マグニチュード9.0、県内最大震度6弱を記録し、九十九里・外房・内房に大津波警報が発令され、死傷者・行方不明者は273人にのぼりました。また、地震の揺れに加え、津波・液状化といった災害も発生し、建物の倒壊をはじめ県内に多くの被害をもたらしました。

1970（昭和45）年の大雨、1971（昭和46）年の大雨・強風では、それぞれ22人・154人の死傷者・行方不明者を出しました。雷・竜巻による被害も少なくなく、また、近年では、大雨にともなう都市型水害も増加しています。

このように、歴史を振り返ってみると、千葉県は災害とは無縁ではなく、風水害は、毎年のように襲ってくる可能性があることに加え、今後、大きな規模の地震が発生することが予測されており、「災害が自分のところに明日にでも起きるかもしれない」と認識する必要があります。

様々な災害の中でも地震は、「突然に、そして一瞬にして」広範囲に渡り大きな被害をもたらします。そこで、この章では、地震を中心に災害について考えてみましょう。

## 【災害時の被害の様子】



昭和45年7月の大雨による水害  
大多喜町



平成元年の豪雨水害  
富津市・湊川



平成12年12月の竜巻被害  
茂原市



平成5年の台風11号による台風被害  
市川市



平成5年の都市型洪水  
千葉市



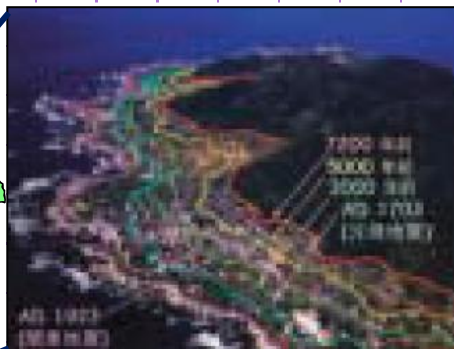
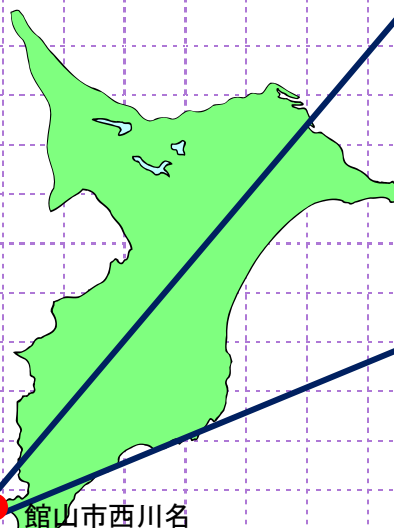
平成8年の台風17号による台風水害  
成東町（現山武市）



平成12年5月のひょうの被害  
我孫子市立我孫子第二小学校



平成23年3月の東日本大震災による津波被害  
旭市



館山市西川名周辺の海岸段丘  
【写真提供：穴倉正展氏】



関東大震災 家屋の倒壊状況  
館山町（現館山市）西ノ濱浜通り  
安房防災誌 千葉県安房郡役所編纂  
【写真提供：（株）臨川書店】



昭和62年の千葉県東方沖地震による斜面崩壊の被害  
長南町  
【写真提供：千葉県環境研究センター地質環境研究所】